

高松宮記念杯 男子第61回・女子第54回 平成30年度全日本学生ハンドボール選手権大会

開催日	2018 年 11 月 12 日 月 曜日	試合番号	ノ			
開催地 (都道府県名)	大阪府		会場名	丸善インテックアリーナ大阪		
性別	女子	回戦	準々決勝			
スコア	A	得点	前半	得点	B	
	大阪体育大学	30	16	-	11	桐蔭横浜大学
			後半			
			14	-	10	
			第1延長前半			
			-			
			第1延長後半			
			-			
			第2延長前半			
			-			
			第2延長後半			
-						
7mTC						
-						

戦況	見出し	大阪体育大学が後半突き放す
	後半	<p>立ちあがり、桐蔭横浜飯塚のスタンディングシュートが決まり先制する。</p> <p>負けじと大体大も相澤が2連続でネットを揺らし、その後も大体大の速攻が続く。</p> <p>7分経過時点で5-2となったところで桐蔭がタイムアウトを要求するも、大体大の攻撃は止まらず、16分27秒10-5で再び桐蔭が2回目のタイムアウトを要求する。桐蔭は直後に2点を連取し3点差となったところで大体大がタイムアウトを取り立て直しを図るも、26分10秒には桐蔭渡辺のポストシュートが決まり、12-11と1点差に迫る。</p> <p>しかし、終盤に桐蔭のミスが続き、16対11の大体大リードで前半を折り返す。</p> <p>後半3分、大体大のポストシュートを皮切りに両チームが点数を取り合う。</p> <p>しかし、大体大GK榎が2連続でペナルティーシュートを阻止し、後半11分で18対13と5点差を維持したままゲームが進む。</p> <p>その後、大体大の堅固な守備で徐々に点差が開く。桐蔭の果敢な7人攻撃も実らず、後半25分で26対18と差が8点に広がる。そのまま大体大が逃げ切り勝利を掴んだ。</p> <p>桐蔭横浜の飯塚と斉藤の活躍が目立つ試合となった。</p>

戦況報告書作成者 守本 幸三郎